

レンタルカートのご乗車に関する説明書

1. 装備

汚れても良い服装で長袖、長ズボン、動きやすい靴(スニーカーや運動靴)にてご乗車ください。フルフェイスヘルメット・グローブは必ず着用です。マフラーや長いネックレス、イヤリングやピアス等の装飾品は予め外しておいてください。髪の毛の長い方は必ず結び、ヘルメット内もしくは服の中に入れてください。パーカーなどのフードも同様に服の中に折り込んで入れてください。

2. 乗車方法

エンジンのないブレーキ側から乗車します。まずシートに立ってください。(ブレーキやアクセルワイヤー等絶対に踏まないようにしてください)次にゆっくり腰を下ろしながら両足をペダルに伸ばします。この時しっかりと足が奥まで余裕を持って踏めるかを確認してください。足が届かない場合や余裕がない場合は車両変更もしくは背中にスポンジを入れて対応いたします。

3. 操作説明

右足がアクセルペダル・左足がブレーキペダルとなります。これは必ずどちらか片方ずつで踏んでください。両方同時に踏んでしまうとエンジンが焼け付き、壊れてしまう可能性があります。ハンドル操作は背中をしっかりとシートに付け、ハンドルは軽く握り、背中からグッと押し出すように、突っ張るように操作していただけると楽に操作ができます。

4. コース内でスピンした場合の注意事項

走行中コース内でスピンしてしまった場合はすぐにブレーキを踏み、手を頭上に上げて大きく振ってください。このアクションは「今ここでスピンしています。コース上に停止している車両ですので避けてください。」という意味になります。後方から走行中のカートにスピンをしていることをしっかり知らせてください。次に周りをしっかり確認し、安全の確認ができればアスファルト上を広いほうにUターンしてコースに復帰してください。車高が低いので縁石や物、芝生等に乗ってしまうと車両が動かなくなってしまう。とにかく周りの安全をしっかりと確認して何も無いアスファルトの上で、広いスペースの方向へUターンをお願いします。

5. コースの走行時の注意事項

当コースは数箇所急なコーナーがあります。必ず最初のうちは特に安全運転を心がけてください。コースの状況やカートという乗り物が理解できてから少しずつ無理のない程度に高速走行してください。無茶な運転や乱暴な運転で車両を壊された場合は弁償していただくようになります。お客様自身のお怪我にも繋がりますので安全運転第一をお願いします。

6. ピットロード・コースインの注意事項

ピットロードは必ず徐行です。2車線に分かれており、手前パドック側は停車スペース、奥コース側は通路となっております。乗り場から出発し、奥コース側を徐行でピットロードを走行してください。ピットロードからコース進入時には左手を頭上高くあげてからコースインしてください。これはコース内走行中のカートは非常に高いスピードで走行していますのでそのドライバーに「まだコースインしたばかりですよ。遅いカートですよ。」ということのアピールのためのサインです。

7. ピットロード・ピットインの注意事項

コース内での走行中は非常に高いスピードで走行しております。必ず「コース内」で減速し、徐行でピットロードに進入しましょう。またコース内での急なブレーキは後方より追走する車両が追突してくる危険があります。ブレーキ前に必ずコース進入時と同様に左手を頭上に高く上げ、後方車両へサインを出してください。この合図は「今からピットインしますのでブレーキを踏んで遅いカートになりますよ。」という意味になります。徐行でピットロードへ進入後、レンタルカートの乗降パドックへスタッフの指示に従って停止してください。

8. 乗車時・降車時の注意事項

エンジン後部に金属のカバーがついたマフラーがあります。走行中・走行終了時は非常に熱くなっており、ここに手をつくるとグローブをしていても火傷をしてしまいます。絶対に触らないようにしてください。必ずシートの両側を持ち、乗車・降車をお願いします。とにかくエンジンの部分は全て絶対に触らないようにお願いします。

9. 車両トラブル発生時の対処法

例えばクラッシュや車両同士の接触、無茶な踏み方や過度な力を入れてペダルの操作等をしてしまうとごくまれにアクセル・ブレーキに異常や故障が発生してしまう場合があります。ブレーキが効かなくなってしまった場合はアクセルから足を離し、コースを周回してください。アクセルを踏まなければ加速をしませんので徐々にスピードが落ちてきます。スピードが相当落ちてきたら、コース内の広い芝生に入ってください。車両の腹を擦って安全に停止できます。次にアクセルを踏んでいないのにエンジンが全開で回っている場合は、ブレーキを踏んでください。スピードを落としてから同じく芝生の中に入って止まってください。上記のように車両の異常や故障を感じた場合は芝生の中に入って止まっていたら安全に停止することができます。停止後、手を頭上に高く上げてスピンした時と同じように大きく振ってください。この時、車両のエンジンが掛かったまま絶対に降車しないでください。カートが軽くなり暴走してしまう危険がありますので、レスキューが来るまではカートに乗車したままでお待ちください。

楽しくカートで遊ぶために、安全運転第一でよろしくお願い致します。